

# 平成29年度 熊本大学総合診療専門研修プログラム

認証待ち

## 総合診療専門医ってどんな医師？

1990年代に、総合診療医をアメリカの学会では「（目の前の患者さん）あなたの専門医」と表現しました。総合診療専門医は幅広い健康問題に対処できる知識と経験を持ち、そこに予防の観点を加えます。そして病気だけではなく患者さんの背景も理解し診療に活かすことができる医師です。そのため多職種との連携においてもリーダーシップをとることが求められています。そんな医師はへき地だけではなく、都会でも求められており、様々な場所や医療機関で活躍する場があります。 **そんな医師を目指してみませんか？**

## 6つのコアコンピテンシーとは

### 1 人間中心の医療・ケア

- ・ 患者中心の医療
- ・ 家族志向型医療・ケア
- ・ 患者・家族との共同を促すコミュニケーション

### 2 包括的統合アプローチ

- ・ 未分化で多様かつ複雑な健康問題への対応
- ・ 効率よく的確な臨床推論
- ・ 健康増進と疾病予防
- ・ 継続的な医療・ケア

### 3 連携重視のマネジメント

- ・ 多職種協働のチーム医療
- ・ 医療機関連携および医療・介護連携
- ・ 組織運営マネジメント

### 4 地域志向アプローチ

- ・ 保険・医療・介護・福祉事業への参画
- ・ 地域ニーズの把握とアプローチ

### 5 公益に資する職業規範

- ・ 倫理観と説明責任
- ・ 自己研鑽とワークライフバランス
- ・ 研究と教育

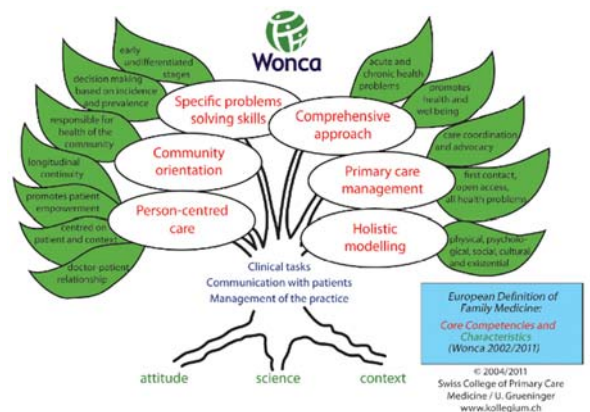
### 6 診療の場の多様性

- ・ 外来医療
- ・ 救急医療
- ・ 病棟医療
- ・ 在宅医療

日本専門医機構 専門研修プログラム整備基準より

## 海外における総合医

海外においては、総合診療医（general practitioners）と家庭医（family physicians）は同じ意味を持っており、family doctorsと総称して呼ばれています。1972年に設立された世界家庭医機構は、世界130カ国の地域で活躍するfamily doctorsを代表し、WHOと正式に協調関係にある公式の組織です。質の高い総合診療・家庭医療を通して世界の人々のQOLを高めることをミッションとしています。



世界家庭医機構（WONCA）における総合医の定義を現したWONCA tree

# プログラムの特色

私たちのプログラムは、熊本大学医学部附属病院が中心となり、熊本県内の多数の施設が参加協力した“オールくまもと”の研修体制が大きな特徴です。特に公立玉名中央病院に設置された教育拠点は、大学病院外での総合診療研修の核として位置づけられており、卒前から卒後教育に至るまで、シームレスな臨床教育が実践されています。

本プログラムは年を追うごとに、参加施設数だけではなく、研修内容の質も常に向上し続けており、平成29年度より開始される新たな専門医制度での「総合診療専門医」育成にも対応しています。私たちのプログラムでは、プログラム修了生に専門医資格を取得するだけにとどまらず、時代によって変化する地域に対応し、生涯にわたって、自身で成長できる総合診療専門医となることを目標としています。熊本で、総合診療専門医となるために、皆様のご参加をお待ちしています。是非一緒に学んでいきましょう。

プログラム責任者 松井 邦彦

## 研修スケジュール

### ■ 研修プログラムの要件

総合診療研修	★ I (診療所・中小病院)	6ヶ月以上	合計 18ヶ月以上
	★ II (病院総合診療部門)	6ヶ月以上	
必要領域別研修	内科	6ヶ月以上	
	小児科	3ヶ月以上	
	救急科	3ヶ月以上	
選択科研修	整形外科, 皮膚科, 精神科, etc...	6か月以下	

※プライマリ・ケアでの診療において、整形外科、皮膚科領域の知識や経験は非常に有用です。自分の理想とする総合診療医像にむけて選択研修は自由に希望を出すとよいと思います。

### ■ 3年間の研修スケジュール

### 先輩（楯先生）の研修例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	熊本大学★ 総合診療科		公立玉名中央病院★ 総合診療科									
2年目	公立玉名中央病院 糖尿病内分泌科		同院 麻酔科		同院 循環器内科			慈恵病院 小児科				
3年目	安成医院（有明圏域）★						国立病院機構熊本医療センター 救急科					

## 教育の実際

- ① カンファレンス  
TV会議システムの活用
- ② Case-based Discussion形式
- ③ Significant event analysis
- ④ 個別のポートフォリオ作成支援
- ⑤ 外来スキル向上のため  
Video Review System導入予定



# 熊本の特色、震災の影響

政令指定都市である熊本市は、医療機関が一極集中しており、高次医療機関と亜急性期～慢性期の医療機関とで機能分化が全国でもかなり進んでいる地域です。一方、その他の市町村では、医療資源が不足しており、総合診療医の活躍と研修の場がそこにあります。



震災後も建ち続ける築約400年の宇土櫓

熊本県は、ご存知の通り「平成28年熊本地震」で、多数の観光地や多くの住民が被災しました。熊本県の復興はまだまだこれからですが、その様な被災した住民を支える活動に貢献しながら医師として研鑽を積むことも可能です。

あなたも熊本県で総合診療医として、我々と地域住民と一緒に歩んでいきませんか？

## 研修施設

- 1 熊本大学医学部附属病院
- 2 熊本赤十字病院
- 3 小国公立病院
- 4 山都町包括医療センターそよう病院
- 5 人吉医療センター
- 6 熊本総合病院
- 7 荒尾市民病院
- 8 天草中央総合病院
- 9 公立玉名中央病院
- 10 八代市立病院
- 11 山鹿市民医療センター
- 12 国立病院機構熊本医療センター
- 13 上天草市立上天草総合病院
- 14 天草地域医療センター
- 15 天草市立河浦病院
- 16 阿蘇医療センター
- 17 国保水俣市立総合医療センター
- 18 天草市立栖本病院
- 19 球磨郡公立多良木病院
- 20 慈恵病院
- 21 安成医院
- 22 天草市立御所浦診療所
- 23 八代市立椎原診療所
- 24 沢田内科医院
- 25 産山村診療所

“オールくまもと”で育てる！





# 総合診療を目指した先輩たちの声

将来、診療所を継ぐために  
総合診療を学んでいます！

私は、熊本市中央区の約30年以上続くある診療所の継承を目標にしています。その診療所では、地域の実情に合わせた医療、すなわち総合診療が求められています。

3年間のプログラムの中では、総合診療科、内科、小児科、救急科の研修に加えて、希望する診療科での研修をアレンジして質の高いプライマリ・ケアの能力を身につけることが可能です。興味のある方は、ぜひ一緒に頑張りましょう！



研修医  
楯直晃先生  
(玉名中央病院研修中)

継続的に地域貢献できる  
総合診療専門医を育成したい！

医師不足にある地域で研修することは、すなわち、一人の医師が担当できる症例の機会が必然的に多くなるということです。

患者から見た、白衣を着た目の前の「医師」は、循環器内科医でも、整形外科医でも、眼科医でも、精神科医でもなく、「医師」なのです。その気持ちに伝えられる「医師」を一緒に目指しませんか！



指導医  
小山耕太先生

## 研修修了後のキャリア

- ① 研修施設の指導医（サブスペシャリティ獲得も相談可）
- ② 研修プログラムの運営管理（大学教員）
- ③ 医学教育への参画（大学教員、現地指導医等）
- ④ Academic なキャリア構築についてもサポート
- ⑤ 地域のプライマリ・ケアを担う診療所 新規開業／医業継承の支援

## お問い合わせ先

熊本大学医学部附属病院 地域医療・総合診療実践学寄附講座

(事務担当 久保・山並)

メール: [chiiki\\_soushin@kumamoto-u.ac.jp](mailto:chiiki_soushin@kumamoto-u.ac.jp)

電話: 096-373-5627

熊本大学 地域 総診

検索

復興の意気や溢るる  
Full of Kumamoto University Spirit

熊本大学

(五高寮歌より)